

デジタル入門



文責:日光

イラスト:ルドロス田中

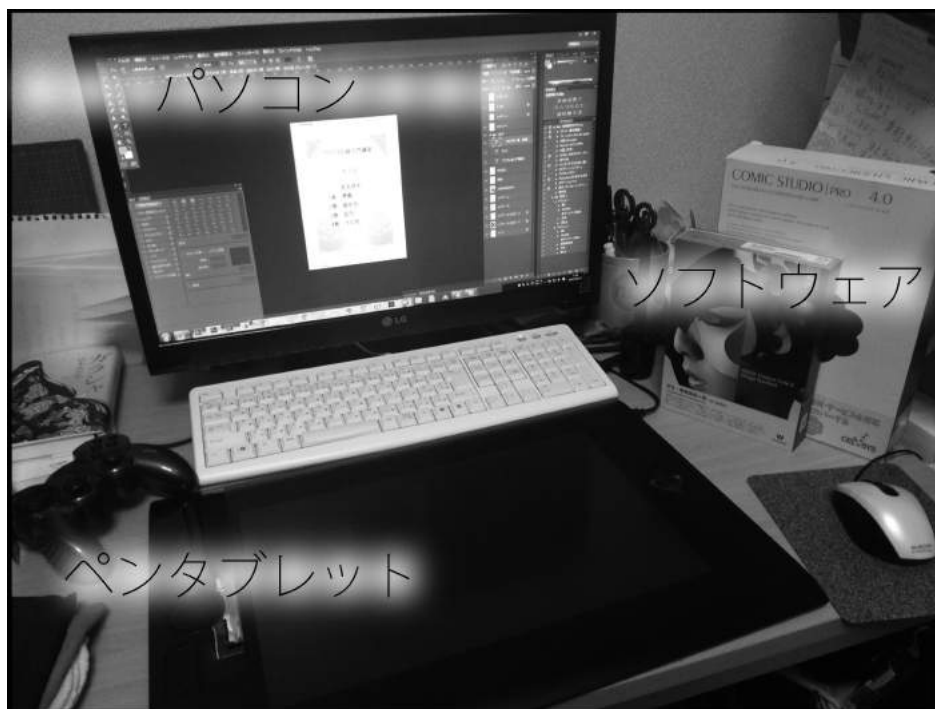
はじめに

デジタルイラストにはアナログと違い、紙に鉛筆で描くような直感的なわかりやすさはありません。しかしデジタルでは何度でもやりなおしがききます。そしてデジタルでは道具の準備や片づけなどの手間からも解放されます。

そこで本書では、ペンタブの使い方や、アナログ視点からのデジタルソフトでの絵の描き方、そして実際に原稿として印刷する方法と注意点について説明します。後ろの方では専門的な単語の説明もするので、さらに詳しいことを調べる際にもぜひ活用してみてください。

それでは、少しでもデジタルで絵を描いてみたいという方の参考になったら幸いです。

1.準備

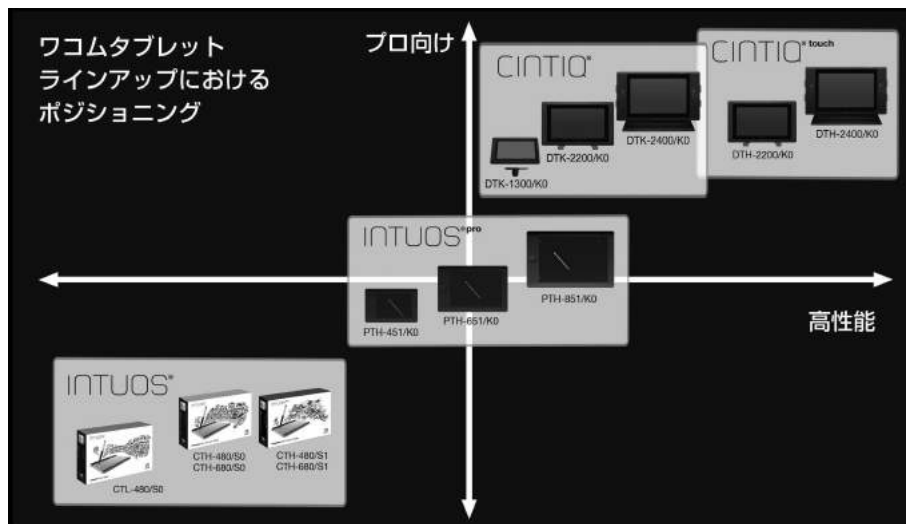


デジタル絵を描く上でだいたい使うのは上の三つです。ただトーンを貼るだけで 良い場合は、ペンタブでなくマウスでも十分です。

○ペンタブを使うには

ペンタブレットを使うには、まず説明書などで指定されているように、線をつなぎます。次にパソコンにペンタブレットを使うためのソフト、『ドライバ』をインストールします。大体はペンタブに付属してるCDからできますが、ネットからもダウンロードできることもあります。

もしペンタブの調子が悪くなり、再起動しても元に戻らない場合は、このドライバを一度消して、再度インストールしなおせば大体の場合は直るでしょう。



○ペンタブ選び

ペンタブはそのサイズによって大体三種類に分けられます。

廉価版 S サイズ…

大体は初心者用に、ペイントソフトも付属してます。値段も手頃で、始めるのにとってつけです。

IntousPro シリーズ…

描き心地が向上してたり、サイズが大きかったりします。ただ、その分値段は高め。

液晶タブレット…

モニターが増えるため、もう一つの画面に資料を映して描いたりすることなどができて、とても便利です。また画面に直接描くので、アナログの描き心地により近くなります。その代わり値段はかなり高め。

○ソフト選び

ソフトは有料無料とたくさんあります。その中から定番のもの等をいくつか紹介します。

○SAI...

¥5,400 / 1ライセンス

安いのでよく使われてます。描き心地がよいので、プロでも線画はSAIで、という人もいます。使っている人が多いので、もっとこういう機能が欲しいと思ったら、ネットで調べれば、大体は解決します。

○ClipStudioPaint...

EX ¥36,720 / Pro ¥9,180

機能が多くあり、最初のうちはそうした点が少しとっつきにくいかもしれませんが、ただその分慣れると便利です。同人誌の原稿を描き上げる上での便利な機能もあります。

○Photoshop...

AdobeCreativeCloud

(月額)¥5,000 / アカデミック版 ¥2,980

(単品月額) ¥2,000

PhotoshopElements12 ¥12,000

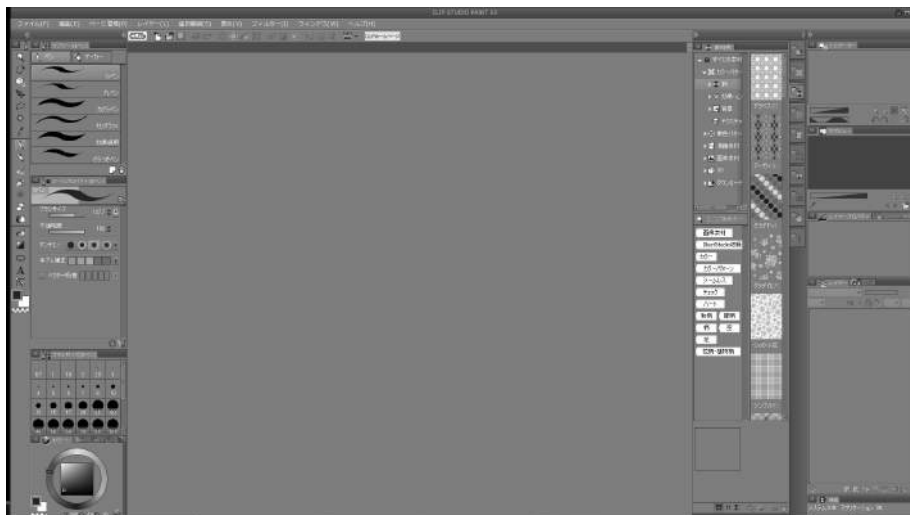
プロの使うソフトでの定番中の定番です。
線画を描くのには向きません。画像の編集が
得意なソフトで、上級者向けな面が強いです。
カラーイラストの最後の仕上げやトーン張りに
使ったりすることが多いかと。

○Gimp...

フリーソフト

機能は十分にあり、有料ソフトに対抗できる
くらいです。同志社生ですし英語はさして
問題ではないでしょう。

2. デジタルでの描き方



それでは早速ソフトをクリックして絵を描いていきましょう!

①キャンパスもとい原稿… まずはファイルメニューから新しいデータを作りましょう。これが**キャンパス**や**原稿**にあたります。

この時に設定した紙のサイズは、後から変えることができます。けれど、小さいサイズで描いたのを大サイズに直すのは、拡大コピーするようなものです。原稿用に、複数ページを一度に作る時は特に気をつけましょう。

○解析度… 設定の項目にあるこれは、描いてる絵を実際に刷った時、どれぐらいのサイズにするかという値です。下の図の左が**“解析度”**の高い時、右が低い時です。



入稿原稿の一般的解析度	
カラー	300~350(pdi)
モノクロ	600~1200(pdi)

② 描く… まずはツール一覧からペンやブラシのようなのを選びましょう。下はClipStudioPaint(以降クリスタ)を例にブラシと消しゴムのアイコンを紹介します。



上から順に、ペン、鉛筆、ブラシ、エアブラシ、スタンプ、消しゴムと並んでいます。このアイコンをクリックすればペンやブラシツールを使うことができます。

○ブラシのプロパティ… ペンやブラシの細かい設定をする部分です。この部分はソフトによって違ってるので、最初は**サイズ**を変える部分からいじっていくようにしましょう。そして次に、**濃度**のところをいじってみましょう。この濃度を変えると、さながら水で薄めるように濃度を変えられます。ちなみに、この太さや濃度を**筆圧**に合わせて変わるようにすることができます。最初のうちはこの**サイズ**と**濃度**を変えることでデジタル絵に慣れていけばいいでしょう。

③ やりなおす… デジタルソフトの一番の醍醐味はその**やりなおせ**るところにあると言っても過言ではないでしょう。おそらくよく使うのは、今引いた線をなかったコトにする「元に戻す」のコマンドでしょう。やり方はキーボードの大体は左下にある「Ctrl」キーを押したまま、「Z」を押します。作業中は利き手じゃない方の手をキーボードにおいて、引いた線をやり直しつつ描いていくのが基本でしょう。

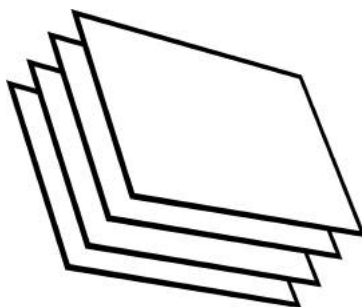
○発展… 例えば「P」キーを押せば大体のペイントソフトはペンツールに切り替わります。(ただし、全角入力の際には変なところに文字が出てくるので、半角に切り替えてください) このように、キーには何かしらのツールが振り分けられています。これを**“ショートカットキー”**と呼びます。これは上の設定とかファイルのメニューから「ショートットキー」あるいは「ショートカット」という語の入った項目から編集や確認ができます。ペンを持たない方の手はショートカットキー用に使えば、作業効率をよりあげられるでしょう。とりあえず最初はペンと消しゴムを切り替えることから始めてみるといいでしょう。

○発展2… 設定によって描き心地は大きく左右されます。慣れていない最初のうちは、「ソフト名+ペン(またはブラシ)設定」で検索し、同じ設定にしたものを使うといいでしょう。

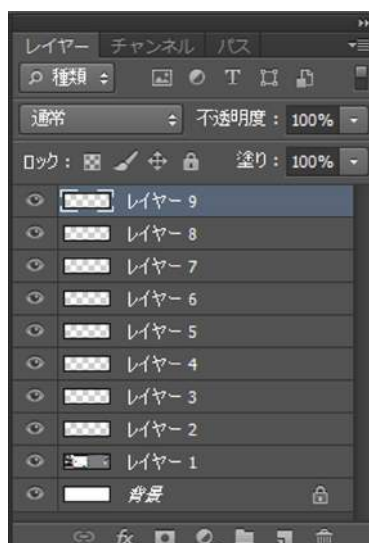
3.機能説明

①レイヤー… デジタルの特徴といえはこのレイヤー機能です。

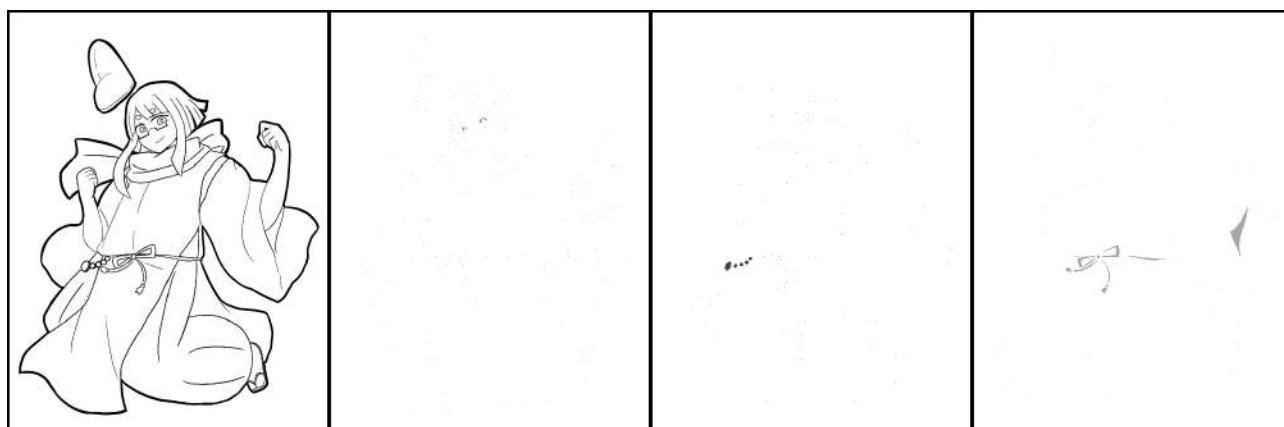
”レイヤー”が使われるのは、原稿上です。例えばある程度描けたのに、一部分を修正しすぎたり水をこぼしてしまったときにその部分だけを切り取って、下から新しい紙をあてがうような感じに近いです。そして、デジタルの場合は自由度が高くて、さらに例えるなら、ガラスの板が積み重なっているようなものです。そして、その一枚一枚に線や色を塗ることができるのが“レイヤー”です。絵でイメージを表すと下のようになります。



それじゃ、どういうふうはこのレイヤー機能を使えばいいのかについて説明します。レイヤーを使うときは大体レイヤーと名前のついたところをいじります。(下図はフォトショの)



それでは実際に使いましょう。レイヤーを増やしたり消したりするのは、下の段のアイコンをクリックします。最左のゴミ箱が消すコマンドで、その左隣が新しいレイヤーの作成。この位置はソフトによって変わるので、逐次確認して下さい。次にレイヤーを使って絵を描くにはですが、この図の中では1, 2, 3…とビルのようにレイヤーが積み重なってます。だから一番上の「レイヤー9」に線画をかきます。そしてその下のレイヤーで色を塗ると、線画の線を消さずに塗れます。ちなみにパーツ毎に分けて塗れば、後々配色を変えるのが楽になります。

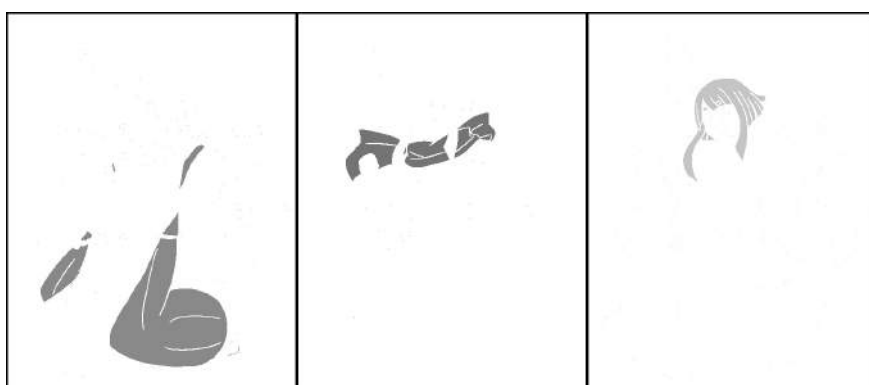


レイヤー9

レイヤー8

レイヤー7

レイヤー6

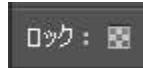


レイヤー5

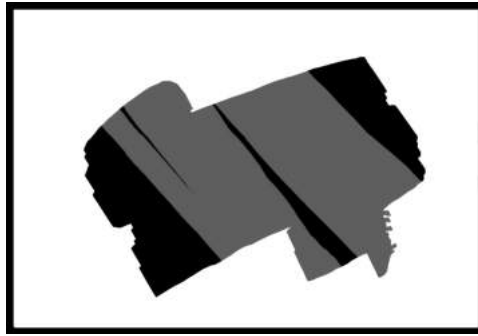
レイヤー4

レイヤー3

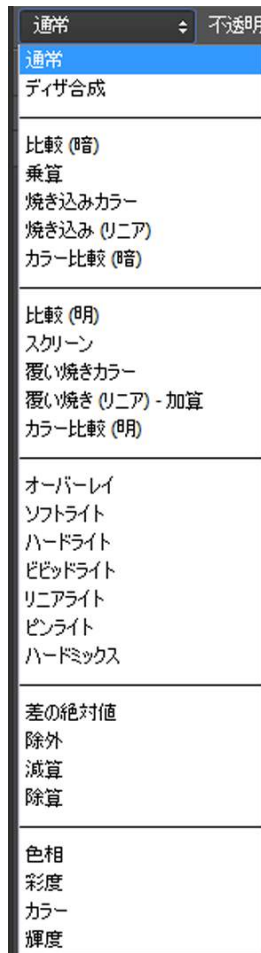
○透明部分のロック… 一度塗った線画の色を変えたいときに
使えるのがこれです。



このアイコンをクリックすることで、一度塗った線画
の上から、はみ出さないで違う色をぬることが出来ます。

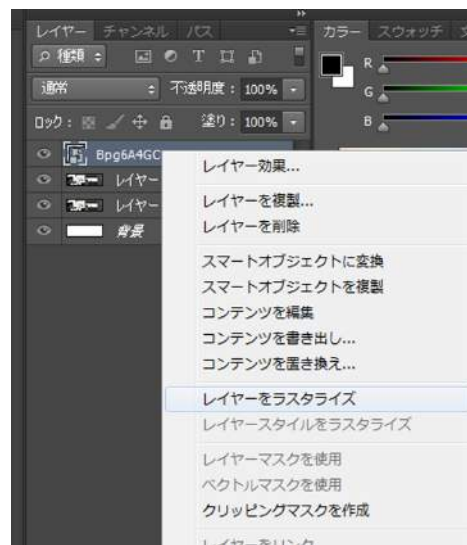


○効果… デジタルならではの機能に、レイヤーの効果
というのがあります。使うとどうなるかという、塗った
色に応じて、それより下層のレイヤーの色味が変わります。



実際にこの色味がどうなるかは、この中から逐次選んでみるとわかりやすいです。ただおおまかに、「乗算」の含まれてるグループのところは暗め、あるいは濃い目に、「スクリーン」の含まれているグループのところのは明るめ、あるいは薄めになります。

※描けないレイヤー… 描いてる時に、素材として普通の画像を取り込みたいときは、ファイルをフォルダ移動するように、ドラッグ&ドロップでキャンパス画面内に直接画像データを放すと取り込めます。その時にその画像を描いたり消したり出来なかつたりする時があります。そのレイヤーを描いたり消したり出来るようにするのが**“ラスタライズ”**と呼ばれる操作です。



上図のように右クリックでメニューを開いてから「レイヤーをラスタライズ」を選びましょう。

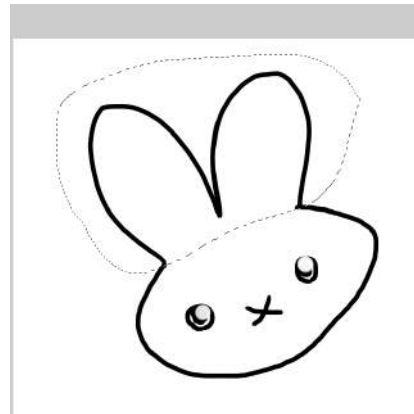
○レイヤーを見えなくする… いくつもレイヤーを作っているとどのレイヤーがどの部分だったか忘れちゃうことがあります。レイヤーには名前をつけることも出来ますが、付けなかった時に確認するには、レイヤーを見えなくしたりできます。レイヤーを隠すには、下図の左側の目をクリックすればできます。



② 範囲選択… ここにウサギさんの絵があります。



次に範囲選択のアイコンをクリックして、この耳の部分をおこのように囲います。



そして編集タブやアイコンなどで様々なことをすると以下のようになります



- ③ ツールの説明… 基本的なツールのアイコンはよくソフト間で似てることが多いです。そこで、そうしたツールの使い方について説明します。

○選択ツール



名称は左から『長方形選択ツール』、『なげなわツール』、『自動選択ツール』です。左のは、長方形に選択範囲を決められます。真ん中のはペンでかくように選択範囲を決められます。そして右側のは絵から自動的に選んでくれます。例えるなら線の部分を堀として、水を注ぎこむようにです。選択をする際には、選択したい線画の描かれてるレイヤーを選択してください。

○バケツ・グラデーション

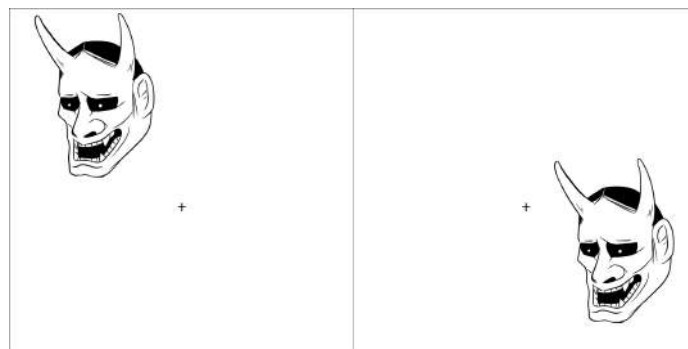


これらを使う場合は選択ツールと組み合わせるといいでしょう。これは塗りつぶしたり、グラデーションをかけるツールです。

○移動ツール



これは絵を下図のようにレイヤーを動かすツールです。



○テキストツール



文字を入れたいときにに使います。文字を打ち込んだレイヤーは大体テキストレイヤーとなるので、ペントールや消しゴムでは描いたり消したり出来ないのです。そうしたことがしたい場合はラスターライズをしてください。

○スポイトツール



画面上の色をクリックして、現在の色をその色にすることができます。

○トリミングツール



トリミングはキャンパスのサイズを好きなサイズに縮めて断ち切ることです。原稿を出す際に A4 サイズに描いたのを B5 サイズにまで刈り込むような感じです。